

トルコ サクランボの季節前半は失望、後半は回復

FreshPlaza 2023年7月3日

トルコの青果物輸出業者アニ・タリム社の販売営業部長であるメフメット・チャクマク氏は、当初予想したようにはうまく行かなかったと言いつつ、「ヨーロッパの多くのサクランボ生産国で悪天候の影響が大規模に見られ、品質が損なわれ、早生から中生の収穫量が減少した。収穫前はトルコを含む多くの国で出荷量は十分だと思われたが、雨と曇天により予期せぬ失望につながった。トルコの生産・出荷業者として、弊社も6月の第2週～第4週に同じ状況に直面した。しかし、全体的な出回り量が少ない中でトルコのサクランボの総生産量は他の国に比べてかなり多いため、ヨーロッパのバイヤーはトルコ産のサクランボに強い関心を示している。この傾向はシーズンの終わりまで続くと思う」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

例年どおり、トルコ産サクランボの価格は非常に高い水準で始まった。同氏は、最近価格が下がっていると言う。「通常、出荷シーズンの最初の数週間に高値が見られ、その後各地で収穫量が増えるため、6月上旬に向かって価格は大幅に下落し、これが7月中下旬まで続く。現在この状況が進行中で価格が下がっており、これは7月下旬まで続くと思う。」

ありがたいことに、トルコの中生から晩生の地域で収穫が始まるにつれて、出荷量が増加した。「シーズンが始まる前は、近年のシーズンに比べて今年は収量と品質の面で気楽なシーズンになると予想していた。しかし、雨が多く湿度の高い天候により、早生の地域からの品質の良い果実の出荷量が減少した。一方、トルコのイスパルタ、コンヤ、ニーデの各県など中生から晩生の地域では、笑顔になるのに十分なだけの収穫量があり、気象条件が通常に戻ったため品質も良好であった。今年の出荷シーズンは8月初旬まで続くと思われている。」

執筆者: ニック・ピーターズ

エジプト ブドウの輸出業者にとって有利な変化

FreshPlaza 2023年7月3日

エジプトのブドウの出荷シーズンは生産者と輸出業者にとって有利な方向に進んでいるが、今年は生産と販売の面でこの業界に重要な変化が見られる。エジプトの様々なブドウ会社でコンサルタントを務めるセーラム・ゴニム氏は、新たな状況に注目する。(以下「」は同氏の発言)

「輸出シーズンはこれまでのところ順調に進んでいる。ヨーロッパへの出荷シーズンの終盤に向けて、輸出量は少なくなっている。一方、誰もが驚いたことに、リビア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦などアラブ諸国からの需要が通常よりも強い。東アジアと欧州の市場は、通常の需要を維持している。現在最も人気のある品種は白ブドウ品種で、次に黒ブドウ品種が続き、今年は赤ブドウの需要は高くない。」

価格の面でも、今シーズンはエジプトの輸出業者にとって有利である。「主に昨シーズンと比較して生産量が20～30%減少したほか、出荷シーズンが通常よりも早く始まったため価格は安定している。一部の生産者は、ほかよりも早く出荷を開始し、バランスの取れた供給を維持した。生産の減少にもかかわらず積極的な輸出は、国内市場での価格を押し上げた。品種の多様性も、価格の安定に貢献した。」

同氏によると、6月にエジプトを襲った大規模な砂嵐は、被害よりも恐怖を引き起こし、むしろ価格を安定させるのに役立った。「砂嵐は量的には大きな損失を引き起こさなかった。被害は、砂がブドウの皮に付着して洗浄が困難になり、輸出できなくなったことだが、国内市場で問題なく吸収された。」

バリューチェーンへの統合が進んでいることも特徴だと同氏は付け加える。「オープン価格ではない契約に基づく輸出が増えている。さらに、多くの輸出業者が、特定の品種の使用に関する独占的権利を持つ独自の生産事業を開始している。今年、このタイプの売り方は販売量の最大90%を占めている。小規模な生産者と輸出業者は、アフリカとアジアでの新しい市場の開拓に注意を向けており、今シーズンもそれが見られた。」

執筆者: ユーネス・ベンサイド